



平均速度の将来予測結果（2040年）

4. 将来交通計画

将来交通計画の検討の視点

まちづくり

将来都市構造を踏まえた
拠点間ネットワーク環境の改善

公共交通

誰でも気軽に移動できる
交通体系の構築

安全・安心

平時・有事を問わず人流・
物流を支える交通体系の構築

持続可能性

将来にわたっても
持続可能な交通体系の構築

目標・方針等を設定

基本目標

まちづくりと連携した交通体系の構築による
ネットワーク型コンパクトシティIwakiの実現

対象区域：いわき都市圏（市内全域）
目標年次：2022年から概ね20年後

基本方針	施策の方向性	主な施策
① 交流・活力・楽しい 人々が集い活動を育む交通体系の構築	主要拠点をつなぐ交通ネットワークの強化	主要幹線道路の整備、基幹公共交通ネットワークの定時性・速達性の確保 など
	主要拠点と地区拠点をつなぐ交通ネットワークの構築	拠点間ネットワークの充実・強化 など
	市街地における賑わいと憩いを生む交通環境の整備	まちづくりと連携した魅力的な道路空間の創出 など
② 快適・便利 誰もが気軽に移動できる交通体系の構築	移動の円滑化に向けた道路環境の整備	まちづくりと連携した交通結節点の整備、主要渋滞箇所の解消 など
	選ばれる移動手段として公共交通の利便性の向上	路線バス・鉄道の利便性、快適性の向上 など
	すべての人にやさしい交通環境の整備強化	公共交通のバリアー化、Massの構築・普及、中山間地域の地域内交通の提供 など
	ICT等の先進技術を活用した交通システムの構築	ICT等の活用による交通システムの高度化 など
③ 安全・安心 市民の日常生活を支える交通体系の構築	安心して生活できる交通環境の整備	生活道路の整備、危険な踏切の解消 など
	交通事故の減少につながる交通環境の整備	渋滞対策の推進、通学路の安全対策 など
	災害等の緊急時に対応した交通環境の確保	災害に強い道路整備、円滑な避難・救援を支える道路ネットワークの強化 など
④ 持続可能性 持続可能な交通体系の構築	環境負荷の低減に資する交通環境の構築	官民連携によるモビリティマネジメント、シェアリングエコノミーの推進 など
	行政負担の適正化に資する交通網の構築	道路網の見直し、LCCを考慮した施設の長寿命化 など
	効果的・重点的な道路網の構築	選択と集中による計画的な道路整備 など
	市民・行政・交通事業者等の連携に向けた体制強化	交通関連データのオープン化 など

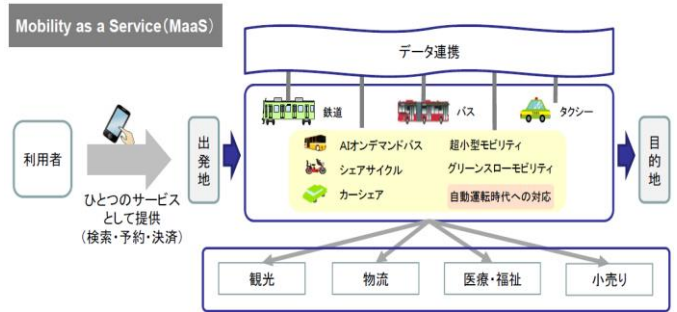
【主な施策のイメージ】



まちづくりとの連携した魅力ある道路空間の創出



通学路の安全対策

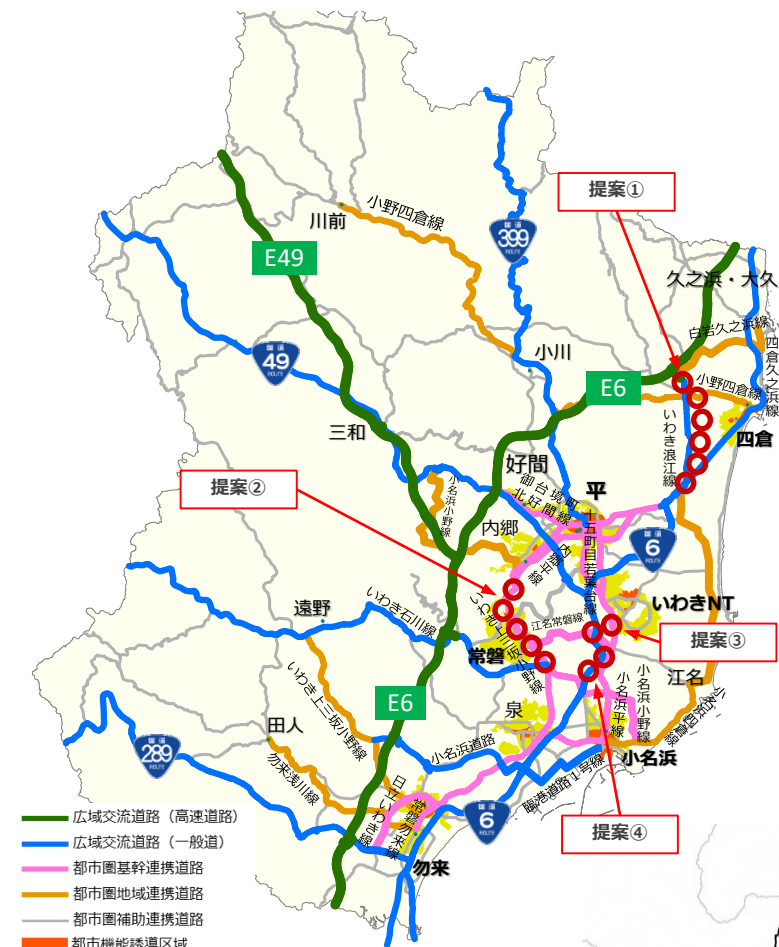


MaaSの構築・普及



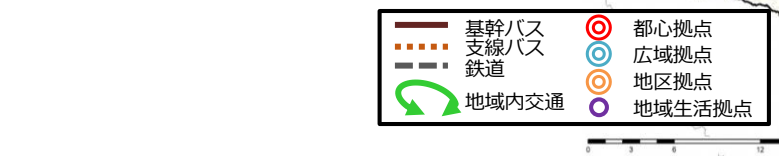
官民連携によるモビリティマネジメントの推進

◎道路ネットワーク



《公共交通ネットワークの基本的な考え方》

- **骨格公共交通の強化**
 - ・都心拠点などの主要な拠点間を結ぶ、基幹バス、鉄道により骨格公共交通網を形成
 - ・利便性と輸送量の確保、多様なニーズに対応した移動手段を提供
- **地域公共交通サービスの確立**
 - ・主要な拠点と、地域生活拠点を結ぶ支線バスやタクシー、その他の生活交通サービスによる地域交通結節点までの交通網を形成
- **交通結節点の配置**
 - ・主要鉄道駅の交通ターミナルのほか、各地域に乗換環境のある交通結節点を配置
 - ・まちづくりとの連携や都市機能の誘導とあわせ、公共交通利用環境の向上を図る



《道路ネットワークの基本的な考え方》

- **広域交流道路**
 - 市外各方面との連携・交流を図る幹線道路
- **都市圏基幹連携道路**
 - まちなか居住区域を有する主要な拠点を相互に結ぶ幹線道路
- **都市圏地域連携道路**
 - 主要な拠点と周辺の地域生活拠点を結ぶ幹線道路
- **都市圏補助連携道路**
 - 上記以外の幹線道路

《道路交通改善区間の提案》

- 将来交通の需給バランス※や速度低下の予測などから次の路線・区間の改善を提案
 - ① 国道6号常磐BP～いわき四倉IC
 - ② 県道いわき上三坂小野線（内郷～常磐間）
 - ③ （仮称）常磐鹿島線（県道小名浜平線～国道6号常磐BP間）
 - ④ 国道6号常磐BP（小名浜林城～鹿島町飯田間）
- ※…1日あたりの道路の交通容量に対する1日の交通量の比

◎公共交通ネットワーク

